

0. アルファロメオチャレンジ開催趣旨

0-1 アルファロメオ(一部フィアット)製車輜を用いて、アルファロメオ(フィアット)愛好家が自ら車輜を操縦し、競技に参加し、競争を楽しむアマチュアクラブマンのレースである。
0-2 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオE S 3 0 (含む) 以降に製造された、比較的新しいアルファロメオのクラスを称してモデルナクラスと呼ぶ。
0-3 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオE S 3 0 (含む) 以前に製造された、比較的古いアルファロメオのクラスを称してヒストリッククラスと呼ぶ。

1. 参加資格とカテゴリー

1-1 ドライバーの参加資格
参加者は、普通運転免許証を持ち、少なくともサーキットフラッグの意味を理解しそれに従うことができること。また、競技規則を守るとともに他の競技者に敬意を払うことができること。以上の条件を満足した上で、アルファロメオチャレンジアソシエーションの会員であること。加入費、サーキット走行経験を有する必要がある。ただし、レース入門クラスのAR120は会員である必要はない。また、グリッドスタートを行わないAR100・ARL・一般走行会・体験走行等は会員でなくとも参加できる。また、サーキット経験の有無を問わない。
1-2 アルファロメオ車輜であれば、年式・車種を問わず参加資格を有し、車種・仕様・改造程度等によりいずれかのクラスに参加資格を有するものとする。(フィアット車はAR150-8に規定する車輜のみ)
SR・AR100・ARLクラスに関しては、ヒストリック・モデルナ・車種・仕様・改造程度等に関係なくアルファロメオ車輜であれば参加できる。ただし、どのクラスも本規則に定める「4. 車輜安全規定」「5. 車輜改造規定」を満足しない車輜は参加できない。
1-3 ヒストリック・モデルナの参加車輜
ヒストリック・モデルナの参加車輜は以下に示すとおりとする。
(1) ヒストリック: ヒストリックへの参加車輜は、原則としてES30 (含む) 以前のアルファロメオ車輜とし、以下に示す車輜とする。
参加可能車輜例示・ TIPO750全車輜/TIPO101全車輜/TIPO105全車輜 (含モンテオリオール)/TIPO115全車輜/TIPO116のうち4気筒エンジン搭載車全車輜/スッド全車輜/33全車輜/GTV6/75全車輜/SZ&RZ全車輜 (ES30) /またES30以前に製造された全車輜
(2) モデルナ: モデルナへの参加車輜は、原則としてアルファロメオE S 3 0 (含む) 以降のアルファロメオ車輜とし、以下に示す車輜および150-8またはAB124が規定のフィアット車輜とする。
参加可能車輜例示・ SZ&RZ (ES30) /164/155/146/147/45/GTV/S/P/Y/D/E/R/156/174/7/G/T/159/Brera/MiTo/Giulietta 以上全車輜、その他以降製造の全車輜
※8Cは事務局に相談の上、参加者の経験値等により、出場の可否・クラスを承認する。
1-4 ヒストリック・モデルナ参加車輜に関する補足ならびに特例
(1)「2」に例示した車輜以外のアルファロメオ車輜が参加を希望する場合は、当該車両の車種・仕様・改造程度などからいずれのクラスに該当するかを事務局が判断・決定するものとする。
(2)「1」ヒストリック・モデルナの参加車輜に例示した車輜であっても仕様・改造程度によっては特例として他クラスへの参加車輜とすることがあり、その判断は事務局が行う。

2. 車輜の区分

2-1 希望クラス申請、事務局によりクラス分け
下記のクラス分けが基準となるが、入会・更新時に希望クラスを申請。車輜改造範囲、過去の実績により事務局がエントリークラスを決定する。車両規定にかかわらず、その人の経験・車両の状態により上位・下位とも規定に外れたクラスを希望することが可能。(排気量が異なる場合もあり) また、地区によっては下記以外に独自クラスの開催の場合がある。
2-2 ヒストリック・モデルナ共通参加のクラス
・SR (スーパーレーシング): HSR・MRの上位に位置し、ヒストリック・モデルナに関わらず車両規定を満たすすべてのアルファロメオが参加可能。アルファロメオ最速を競うクラス。
2013より車輜により、SRとSR2に分かれる。(SR2からSRへの降格は可能。) また、現役が否かに関わらずプロドライバーはこのクラスとする。
▲SR/基本的には3.2L以上全車輜と156-3.0 ▲SR2/3L以下全車輜(ただし156-3.0は除く) ※147CUP-GTV-CUPならびにカブ車含む(155-GTV-Mito-Giulietta)
・AR100: 入門編として(特にサーキット初心者) 幅広く参加しやすいよう設置されたクラス。実績のあるドライバー等、趣旨に合わない場合参加不可。また3位以上入賞のドライバーは、次戦以降のこのクラスには参加出来ない。(参加5台以下の場合除く) 特に改造に関する規定は設けず、(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオならびにAR150-8またはAB124クラス対象のFiat車輜が参加可能。
・ARL (レディース): 女性専用クラス、女性が参加しやすいよう設置のクラス。特に改造に関する規定は設けず、(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオが参加可能。ヒストリック車輜のクラス。
・HTA200: 車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が2000cc以下のTA(トランスアクル)車輜。(707i/707/GTV6・75・ES30等) HTA300: HTA200同様の内容で2001cc以上の車輜。
・H130: 車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が1300cc以下のTA(トランスアクル)構造で無い車輜。H160: H130同様の内容で、実排気量が1600cc以下の車輜。
・H180: H160同様の内容で、実排気量が1800cc以下の車輜。H200: H180同様の内容で、実排気量が2000cc以下の車輜。
・HR (ヒストリック・バイク): 上記の車輜規定を満足しないヒストリック車輜または過給機付車輜。ただし往時を重視した改造の範囲内とする。
・HSR (ヒストリック・レーシング): HRの範囲を超えた、車輜・ドライバーまたは、発売当時のオリジナリティを重視しない改造を施した車輜。
モデルナ車輜のクラス
・AR120: レース入門クラス (AR100のレース版)、入賞者は次回参戦不可。(AR150へステップアップ/参加3台以下の場合除く) 車両規定は下記AR150-0~9適合車輜。ARCA入会不要(ポイント対象外)
・AR150: 車輜規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するモデルナ車輜。(車輜により11クラスに細分化)
AR150-0詳細 150-0相当[AR4C]=4C 150-0.5相当[AB124]=7H 124spider 150-1=3.2L全車輜(GT,GT,ATV,159,Brera&Spider),ジウリエッタQV
150-2=Mito(トランスアクル),156V6,GTV&Spider3.0,GTV2.0TB,155Q4,166(2.5,3.0),ES30,707(500ccギヤード) ※1 150-3=156TS, JTS 150-4=145TS,147TS,155V6,GT2.0,GTV2.0
150-5=155TS,146,SPIDER2.0 150-6=4x4ピット,Q-system (3.2L除く) 150-7=Mito(ノーマル) 150-8=ABARTH(500ccギヤードラテブ、アト) ※1※2、
NA1.8L以下のFiat/Alfa Romeo/Fiat車輜 (500/07年~アト/93年~ノーマル/03年~ノーマル/95年~) 150-9=159,BreraSpider (939系) ※3
※1アト1500のギヤードラテブ等の追加表記180ps以上のギヤードラテブと社外ギヤード交換車輜はAR150-2。追加表記163ps以下のギヤードラテブ(ABARTH PUNTO等のギヤードラテブ)車輜はAR150-8。
※2アト1500・R37カブ・アトS2000等レーシング・カブ・カブのものは除く ※3 159-9において3.2L車で優勝した場合は後述のクラスアップを推奨。
<クラスアップ>AR150クラス内で車輜が該当するクラスより数字の少ないクラスへの参加は原則自由。(AR150-3の車輜でAR150-2出場。AR150-6の車輜でAR150-3出場等。)
※ 150-7は150-4以上、150-9のJTSは150-4、3.2Lは150-1以上とする。 150-8の707対ならびにフィアットは150-6以上、ABARTHは150-2以上とする。
※ 150-7・150-8・150-9に限り、途中でギヤード変更の場合、それまでに獲得したポイント×0.8を更替したギヤードへ移行可能とする。(端数は切り捨て) 移行は本人からの申請があった場合のみ。
・AR200: 車両規定を満足し、実排気量が2000cc以下のモデルナ車輜。ただし、155とQ-system車輜は2500ccまでこのクラスとする。
・AR250: 車両規定を満足し、実排気量が2001cc以上3000cc以下のモデルナ車輜。また過給機付車輜はこのクラスとする。159,Brera&Spider等の2.2JTS車輜もこのクラスとする。
・AR300: 車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が3000cc以上のモデルナ車輜。
・MR200: AR150・AR200・AR300の車両規定を逸脱する、実排気量が2000cc以下のモデルナ車輜。ただし155は2500cc以下の車輜及び156N1。また3000cc以下のAT車輜。
※2013年度から暫定的に 159JTS2.2L、156V62.5L、Mitoの参加を可能とする。
・MR300: AR150・AR300の車両規定を逸脱する、実排気量2001cc以上のモデルナ車輜、及び過給機付車輜。ただし155は2501cc以上。

3. 安全規定 (共通)

3-1 難燃性の長袖長ズボンで、運転に支障のない服装を着用すること。JAFもしくはFIA公認のレーシングスーツの着用を強く推奨する。
3-2 アルフェイスもしくはジェットタイプのヘルメットの着用を義務付ける。SNELL規格もしくはJIS規格に適合するレース用ヘルメットの着用を強く推奨する。また、HANSデバイスの装着を強く推奨する。
3-3 オープンカーの場合はアルフェイスタイプを義務付ける。ドライビングに適したシューズを着用すること。レーシングシューズの着用を強く推奨する。
3-4 レース用グローブの着用を義務付ける。指先の露出は適しは不可。

4. 車輜安全規定 (共通)

4-1 ヘッドライト、テールランプ、ブレーキランプ、ワイパーなどすべてのランプ類は正常に点灯し機能すること。ガラス・プラスチックレンズ部分すべてをテープ(出来るだけ透明)で飛散防止処理を施すこと。
4-2 安全ベルトはモデルナAR各クラス以外に4点以上のフルハーネスを義務付ける。ただし4点の3ポイントは可。モデルナAR各クラスは4点以上のフルハーネス推奨。
4-3 バッテリーおよび配線は確実に固定されなければならない。その場合グローブ、コネクタ、クランプ等で固定され安全性の高いものでなければならない。
4-4 ブローパイプガス還元装置を取り外している車輜に関してはオイルをコスト上に流出することを防ぐ確実なブローパイプオイルキャッチタンク装着を義務付けるものとする。
取り付け方法も確実にバッテリーに固定されなければならない。その容量は2L以上とする。
4-5 排気管は後方もしくは側方に向け、燃料系統に対し十分な防護措置を講じなければならない。
4-6 ヒストリック各クラス・SRクラス・MRクラスは、ロールオーバー防止装置の装着を強く推奨する。レース各クラス参加のオープンカーはサーキット走行に際して有効なロールオーバー防止装置(AR)又は純正品で可の場合あり)の装着を義務付ける。また装着に際しては6点式以上を強く推奨する。ただし、グリッドスタートを行わないAR100・走行会等はロールオーバー防止装置の装着を強く推奨する。
4-7 カットオフスイッチの装着を強く推奨する。安全燃料タンクの装着が望ましい。
4-8 フロントウィンドシールドは合わせガラスが望ましい。
4-9 走行時は牽引フックの装着を義務付ける。取り付け方法も確実にフレーム等に固定されなければならない。前後装着を強く推奨する。

5. 参加車輜の改造範囲 (特に記載の無い場合は全てのクラスを対象とする)

5-1 エンジンブロックの交換はヒストリック/モデルナ各々、出場するクラスに出場可能な車輜に搭載されていたブロックの範囲内で交換する場合のみ異なる排気量でも可。
5-2 気筒数の変更、ピストンリング、ピストン、コンロッドは交換可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとし、排気量が増える場合は当該クラスに変更すること。
5-3 シリンダーヘッド交換は、そのクラスに出場可能な車輜に搭載されていたヘッドの範囲内のみ交換可。ポート研磨、ヘッド面研磨などヘッド加工は可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-4 カムシャフト、バルブ、バルブスプリングは自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-5 フライホイールは変更、加工とも自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-6 潤滑系統はHSR・HR・SRのみドライサンプ自由。ただし潤滑系統の接続は確実なものとし、ホースバンドは不可。
5-7 オイルクーラーの追加は可。その場合取り付け位置が車体内に収まり、ホース・フィッティングが外れる事のないように固定すること。
5-8 冷却系統の変更は自由。この場合も車体内に収まり確実に固定すること。
5-9 吸気装置はキャブレターからインジェクションへの変更は不可。インジェクションからキャブレターへの変更は可。
4-4規定によりダイレクト吸気装置の場合ブローパイプのガス開放は禁止。この場合オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。セパレータなどの簡易装置は禁止。
5-10 排気系統の交換は自由。ただし有効な消音装置の装着を義務付ける。
5-11 点火プラグ交換は自由。点火装置の変更追加は自由。
5-12 モデルナは、ターボ車のタービン交換はSR・MRクラスのみとする。(ARクラスでは不可) ABARTHの707C使用不可。
5-13 クラッチは交換自由。
5-14 ギヤボックスはオリジナルのケースを使用すること。モデルナでは、ギヤ比の変更はSR・MRクラスのみとする。(ARクラスでは不可)
5-15 最終減速装置は生産時にアルファロメオ一般市販車に搭載されているデフケースを使用すること。この場合差動装置を追加することは可。モデルナでは、SR・MRのみファイナル変更可とする。
5-16 バック、スパーサーは自由。ただしホイールのリム幅及びオフセットの変更はタイヤを装着した状態でフェンダー内に収まるサイズまでとする。
5-17 タイヤは一般市販タイヤであること。レーシングタイヤ(スリック、カットスリック、オールウェザー、レーシングレイン)などは禁止。フェンダー内に収まるサイズまでとする。
5-18 ショックアブソーバーの変更は可。スプリングの変更は可。
5-19 サスペンションアームに関しH130・H160・H180・H200は形式の変更、改造は不可。その他のクラスは寸法形状ともに自由。
5-20 スタビライザーの追加変更は可。この場合スタビライザーエンド部のピロボール化も可。
5-21 ブレーキローターに関し、寸法形状ともに自由。
5-22 ブレーキパッド(シュー)は交換自由。倍力装置は取り外し変更可。
5-23 ブレーキキャリパー変更はヒストリックは、4ポッドキャリパーの範囲内で交換可。モデルナは自由。
5-24 ステアリングホイールは交換可。
5-25 ペダル類は交換可。
5-26 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアーム取り付け支点の位置変更は不可。
5-27 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアームの追加は不可。アルファ伝統のいわゆるCRBBシステムは許される。

6. 車体形状および改造範囲

6-1 ウィンドウ、スポイラー、オーバーフェンダー等の取り付けは、H130・H160・H180・H200クラスは認めない。HRクラスでは当時の形状と同一のオーバーフェンダーのみ認めるが、取り付けはヘルメットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。HSR及びモデルナでは車体寸法内に収まる物に関しては認めるが、取り付けはヘルメットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。
6-2 開口部形状の変わらぬ樹脂または軽金属製の交換可。ヒストリック/モデルナは175gの追加禁止。取り付けは可。すべて走行中に開かないようしっかりと固定すること。
6-3 バック・バルブ・ドアは取り外しは変更、軽金属製の取り付けは認めない。ただし軽金属樹脂製のドアの交換可。この場合インボクシング、取り付けは純正を使用すること。
6-4 座席は取り外し、交換とも自由。運転席の固定は必ずボルトナットで確実に固定すること。ただし、AR150クラスは取り外し不可。
6-5 窓ガラスは、フロントウィンドウを除く他の窓ガラスを透明な他の材質に変更することは可。ただし、AR150・AR200・AR300クラスは不可。
6-6 ダッシュボードの変更、交換は認められるが、取り外しは不可。
6-7 バッテリーの変更、搭載位置変更は可。ただし、車室内に位置変更する場合は有効な仕切り隔壁により車室と隔離しなければならない。
6-8 ヒストリック車輜の最低重量はH130/800kg (750・101は720kg)、H160/810kg (750・101は730kg)、H180/830kg (750・101は750kg)、H200/850kg (750・101は770kg)とする。これ満たさない場合はHR・HSRクラスとする。(HTA200・300は除く)